

里ちゃんだより



里庄町教育委員会

電話 0865-64-7212

「町民の皆様、いつも本当にありがとうございます」

町民の皆様には、教育行政の推進にあたりまして、ご理解とご協力をいただき、心よりお礼を申し上げます。本年度も、町民の皆様のご協力により、様々な事業を実施することができました。ご参加いただいた方の笑顔や元気な姿を拝見できますことが、何よりも心の支えとなります。これからも、皆様のご意見をお聞きしながら、よりよい事業となるように実施していきたいと考えております。

本紙は、本年度実施した教育委員会や学校・園の事業についてお知らせしております。紙面の関係で掲載できませんでしたが、マラソン大会や、文化ホール事業（NHK ラジオ公開収録、コロッケ爆笑！スペシャルライブ）なども、多くの方にご参加・ご来場いただき、喜んでいただきました。引き続き、教育委員会の職員が一丸となって、町民の皆様をはじめ、ご参加いただいた全ての方に、笑顔になっていただける事業を企画・実施していきたいと考えております。これからも、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

（文責：事務局長 山本 直樹）

「生きる力」向上プロジェクト “さとしょう未来塾” 里ちゃんチャレンジ・ワールド

～冒険キャンプ2025 IN 倉敷市自然の家～



キャンプファイヤー（スタンツ）

8月21日～22日に東・西小学校6年生37名が参加し、倉敷市自然の家で、豊かな自然環境の中「本物体験」をしました。子どもたちの健康を配慮し、本年度は7月の猛暑を避け、8月下旬の実施を計画しましたが、それでもなお残暑が厳しいことから、活動内容を一部変更して行いました。

様々な体験活動を通して仲間づくりを行い、参加した子どもたちからも「東・西小学校の人が仲良くなれたおかげで中学校生活が安心できそう!!」と感想がありました。暑い日でしたが、小学校最後の夏、たくさんの思い出を残すことができました。

（文責：蜂谷 真治）



ASE 活動（社会性育成体験活動）



プロジェクトアドベンチャー
（集団育成）



そうめん流し（野外炊事）

里庄町の子どもたちの様子（スマートフォン・ゲームの実態調査より）

教育委員会では、毎年、スマートフォン・ゲームの使い方についてのアンケートを実施しています。本年度は11月に、小学4年生から中学3年生までの子どもたちに実態調査を行いました。その結果から気になる質問項目について紹介します。

子どもを守るのは、社会の大人全体の責任です。子どもの一番身近にいる大人として、まずは、家庭内のルール作りについて取り組みましょう。**ご家庭で、お子様としっかり話し合って、子どもも納得するルール作りを進めてください。**（文責：原田 英明）

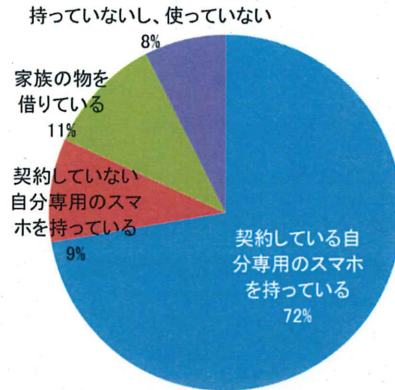
自分専用スマホ・携帯電話所持率

小学校（4年生～6年生）



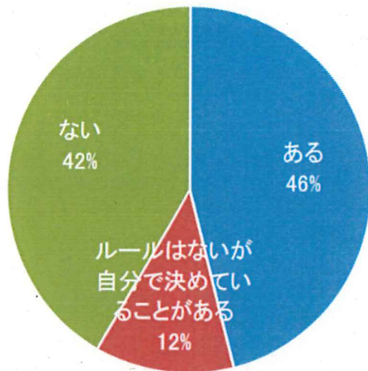
自分専用のものを持っている子ども
小学校 約4割
中学校 約8割

中学校（1年生～3年生）



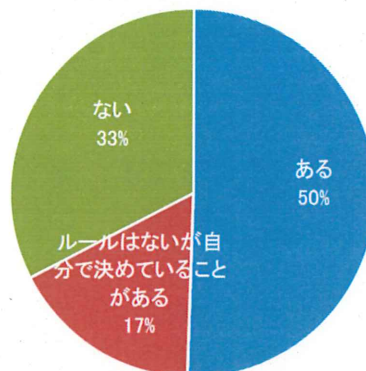
スマホ・インターネットを使うとき、家庭でルールを決めているか

小学校（4年生～6年生）



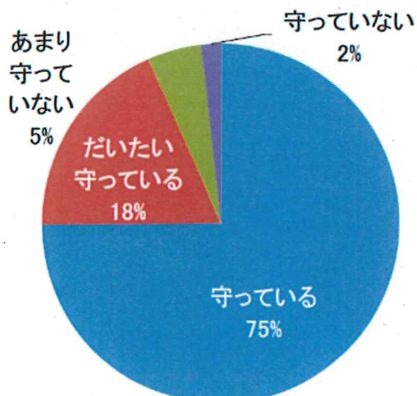
決めていない子ども
小学校 約4割
中学校 約3割

中学校（1年生～3年生）



里庄町の統一ルール（※）を守っているか

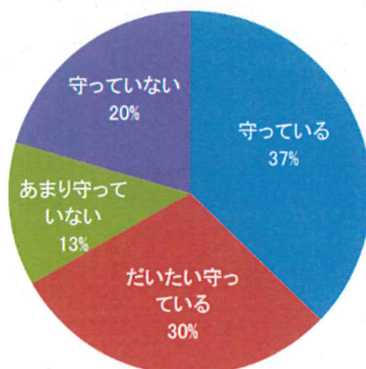
小学校（4年生～6年生）



守っている、だいたい守っている子ども
小学校 約9割
中学校 約7割

中学生になると守りにくくなる傾向がある

中学校（1年生～3年生）



※里庄町の統一ルール・・・「スマートフォン・携帯を使うのであれば午後9時までの使用とする。家庭の事情により、家庭内のルールが弾力的になる場合も考えられるが、友達等には、午後9時以降はメールやラインを送らないようにする。」

学校教育施設の老朽化対策の推進

学校施設は、未来を担う子どもたちが集い、生き生きと学び生活をする場です。また、地域住民にとっては生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、非常災害時には避難生活のよりどころとしての重要な役割を果たします。教育委員会では、老朽化が進んだ学校施設において、経年劣化により機能が低下してきた施設を優先に、今の学校教育に求められる機能や装備を集約した長寿命化改修や建替えなどの更新を図る老朽化対策を推進しています。（文責：淡路 尚久）



東小学校屋外トイレ棟（着手前）



東小学校屋外トイレ棟（着手前）



東小学校屋外トイレ内部（着手前）



東小学校屋外トイレ棟（完了後）



東小学校屋外トイレ棟（完了後）



東小学校屋外トイレ内部（完了後）

ニュースポーツ交流会 ～モルック～

7月13日に、里庄町生涯スポーツ「ニュースポーツ交流会」が開催されました。多種多様な生涯スポーツが増えていく中で、今大会では町民の皆様に「モルック」を実際に体験していただきました。「モルック」とは、“モルック（木の棒）”を“スキttl（目標の木の棒）”に向けて投げ、得点を競うスポーツです。生涯スポーツの醍醐味でもある老若男女を問わず、誰でも楽しめる競技となっており、小学生は、地域の大人たちと一緒に不規則に転がっていくモルックに目を奪われていました。そして、スーパープレーが出るたびに、会場から歓声があがり、勝ち負け関係なく選手たちは笑顔で楽しんでいました。

本年度は、分館でのイベントや西小学校の授業でもモルックを行うなど、広がりを見せています。生涯スポーツは、健康の保持増進や人との交流を深めることを目的としています。グラウンド・ゴルフやウォーキングなど、自分に合ったスポーツを楽しみながら、日々体を動かすことで、健康の増進をはかり、地域の活性化に繋げていけるように、今後も生涯スポーツの普及に取り組んでいきたいと考えています。（文責：大植 玲）



スキttlにモルックを投げる様子



モルックの動きを見守る様子

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ～学校を核とした地域づくり～

教育委員会では、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度のある学校・園）と地域学校協働活動（地域の方による子どもの支援、見守りなど）を一体的に推進し、地域とともにある学校づくりに努めています。

各学校・園の学校運営協議会で子どもたちに必要な環境や、支援を話し合い、地域学校協働活動として地域の方々、PTA、教職員が手を携え一体となって活動し、学校を核とした地域づくりを進めています。
(文責：蜂谷 真治)



「地域の皆様とのふれあい」
モルック大会 R7.11.8
里庄西幼小学校運営協議会



「他者との対話を通して自分自身を知る」
中学生だっぴ（立志の会）R8.2.13
里庄中学校運営協議会



「学校園の環境整備」
環境美化活動 R7.5.10 と 10.26
里庄東幼小学校運営協議会

里庄町家庭教育支援チーム「さとりんぐ」発足！

4月に里庄町家庭教育支援チーム「さとりんぐ」が発足しました。「さとりんぐ」は、チーム員6名で構成され、保護者の皆様とともに学び合う機会や保護者同士のつながりの場を作り、家庭教育力の向上を目的としています。チーム名の「さとりんぐ」は、「“里庄”と“ストロング”を掛け合わせた造語」で、里庄町の家庭教育を永く、力強く支援していきたいという思いが込められています。本年度は、6月に里庄東・西幼稚園の保護者を対象に、親育ち応援学習プログラム「子どもの心に寄り添うって…～子どもの心のおくのおく、見えていますか～」を、10月に里庄東・西小学校で、令和8年度入学予定児童の保護者を対象に、親育ち応援学習プログラム「自分でできたよ！うれしいな～入学までに応援できること～」を実施しました。親育ち応援学習プログラムは、子どもの健やかな成長とともに、互いに子育てについて学び合い、親として育ち合うことを目的としています。参加された保護者からは「普段なかなか子どもの様子について、保護者同士で話す機会がないので共感できることが多々あり、共有できる時間がもてたので良かった」「小学校入学までに必要な準備がわからず不安が多かったが、保護者同士話し合えて良かった」などの感想をいただきました。

今後も「さとりんぐ」を中心に、家庭教育支援につながる活動に取り組んでいきます。

(文責：小野 修平)



親育ち応援学習プログラムの様子